

# 図書館へ行こう！

## 発表！校内読書旬間記念・2017読書に関する標語大賞

大賞(中)	本は人間を豊かに実らせる「土」である	3-2	若井拓馬
大賞(高)	成功者たちは読んでいた	2C	平原佳歩

入賞作品一覧			
今日から毎日読書の日	1-1	原 壮一郎	
本でめぐりあう奇跡。	1-2	森田 さくら	
本はロマン	1-3	川合 悠仁	
「空前絶後」の本の世界へ！！	2-1	小 嶋 花	
入ってしまった。本の世界に。	2-2	谷 山 露	
本は「もしも」を旅するチャンスだ	2-3	古小路 由衣	
本は時に武器になる。	3-1	吉田 裕晴	
この本に、決めた！	3-3	末次 優斗	
全力で、読書	1A	池田 圭佑	
目指せ！読書王	1B	稲森 聖哉	
その知識が いずれ最大の武器となる	1C	寺脇 麻由	
昔も今も秋は読書	1D	田中 梨乃	
本活！！	2A	戸田 康貴	
漕ぎ出そう！活字の海へ。	2B	佐々木 耕	
世界をひもとく素敵な時間	2D	柊山 広樹	
ドンボスコも本を読んで育った	3A	鳥居 一樹	
本とは人生の道しるべ。	3B	柴田 知也	
読める門には福来たる。	3C	井上 寛大	
秋は図書館に住みたい。	3D	廣嶋 佑汰郎	

### 読書に関する標語審査会へ報告

○【高校生の標語を審査】中学図書委員会…十月十二日(15:20)。  
 ○【中学生の標語を審査】高校図書委員会…十月十七日(16:20)。  
 (審査方法)応募用紙すべてを委員全員が見て、よいと思う標語のすべてに一人1点ずつ点数を入れていく加点法。

今秋も皆さんの思いがいっぱい詰まった標語が集まりました。今年も流行にちなんだ応募が目立ち、予想どおり「35億(冊)」「with B(look)」や「本の名は。」の応募が多いのが印象的でした。審査当日は、図書委員全員が1枚1枚すべてに目を通し、高校生のユーモアたっぷりの表現や、学生のすなおなフレーズに感心しながら、てきぱきと真剣に投票しました。



そんな審査の結果、大賞に選ばれたのは、3-2若井くん・2C平原さんです。おめでとう！！

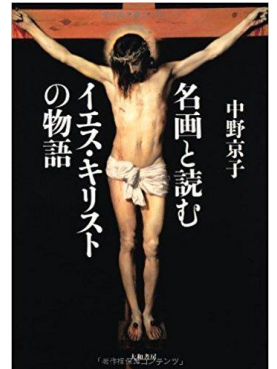
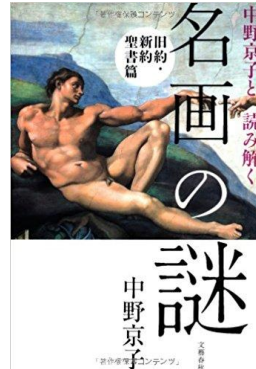
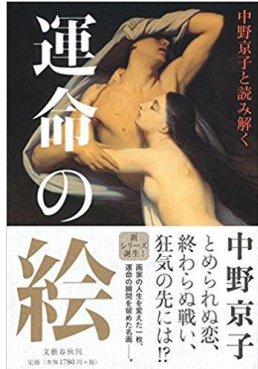
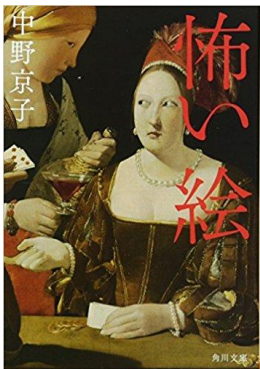
入賞作品もあわせてご紹介します。たくさんのご協力ありがとうございました。

## 校内読書週間特集① 絵画を読もう

本当に怖いのは・・・

季節は秋。芸術の季節です。図書館入り口で展示をしている「絵画を読もう展」にちなんで、今日は『怖い絵』でおなじみの中野京子氏が書いた図書を紹介します。

学院図書館にある中野京子著の本↓



これらの本では、絵画をただ「うつくしい」という目で鑑賞するだけでなく、そこにひそむ背景を伝えています。たとえば有名なドガの「踊り子」は、無垢な少女がバレエを踊る一場面を描いただけのように見られますが、画面の端に映る男性や、背後の暗くなっている部分に注目すると、違った側面が見えて興味深いものです。

## 校内読書週間特集② 日野原重明さんをお話しよう

本当に大切なのは・・・

今日  
すべきことを  
精一杯!  
日野原重明

「将来のことをいわずに思い煩わず、今日すべきことを精一杯やりなさい」

～105歳の医師の原点とも言える1冊！医療現場での経験と、自らの人生をまっとうする中で得た深い気づき。人生の充実とは何かを問う珠玉の言葉たち～

←『今日すべきことを精一杯！』ポプラ新書2017年3月刊行



医師として多くの患者と交流し、その最期を見届ける中で、身体的に健康であるというだけでなく、人生の充実とは何かを追い求めてきた日野原先生。現場に立ち続けたからこそ見えてきた真実と、自身が人生をまっとうする中で得た深い気づきからにじみ出る言葉に、私たちは勇気づけられ、こんなふうに歳を重ねられたらと願わずにはいられません。

日野原先生は、この本のほかにもたくさんの「名言」を残しています。

生きがいとは、自分を徹底的に大事にすることから始まる。

鳥は飛び方を変えることはできない。  
動物は這い方、走り方を変えることはできない。  
しかし、人間は生き方を変えることができる。

なんと言っても、人が人に与える最高のものは、心である。  
他者のための「思い」と「行動」に費やした時間、人とともに  
どれだけの時間を分けあったかによって、真の人間としての証がなされる。